

2017年9月7日

2018年1月1日付更新に当たっている臨床検査専門医へ（追補版）

日本臨床検査医学会理事長 矢富 裕  
副理事長（新専門医制度担当） 山田 俊幸

★2017年3月3日に既に案内済みですが、6月2日更新基準が改訂されたことを受け、3月3日の案内を赤字修正・追加する形でここに案内します。

#### 1. はじめに

臨床検査領域は、2018年1月1日付更新から新制度による専門医(機構専門医)としての更新を導入します。これにあたり、当該の方に向け、更新に必要な単位について説明します。添付の必要書類の提出期限は11月末日ですが、それまでの準備の参考にしてください。

機構専門医での更新を導入する一方で、現制度（学会専門医）での更新も少なくとも2020年度までは継続します。従って、学会専門医を更新する方は、現行規定が適用されますので、ここでは詳しくは説明しません。

#### 2. 機構専門医として更新が必要になるのは？

現専門医のすべてに機構専門医での更新を勧めますが、特に新制度における指導医として研修プログラムに掲載された方は機構専門医であることが求められますので機構専門医としての更新が望まれます。

#### 3. 今回、学会専門医として更新したらどうなるか？

今回の更新時（5年後の2022年度）に機構専門医として更新することが可能です。ただし、今回の更新後の5年間で、必要単位50単位を揃えるためには、毎年平均10単位ずつ取得していくことが望まれます(短期間で取得するのは困難)ので、この案内を参考に、遺漏なきようご準備ください。

今回、学会専門医として更新され、次回機構専門医としての更新が困難または年齢などの理由で必要性の低い方は、名称を変えた現専門医に相当する学会認定資格（認定医等）を残すことが検討されていますので、そちらを選択することも可能です。ただし、機構の新制度が確立されますと、学会認定資格では「臨床検査専門医」を名乗ることはできなくなることに留意ください。

#### 4. 今回、機構専門医更新に必要な単位数

学会専門医更新に必要な40単位と、機構専門医更新に必要な10単位の計50単位が必要になります。現制度の「リスクマネジメント講習会」と新制度の「必修講習・医療安全」は、どちらかが含まれていれば可とします。なお、学術業績や講習会の単位は、「学会」と「機構」2つの制度で重複カウントできませんので注意してください。

後述の診療実績が免除される専門医は、学会専門医更新に必要な 40 単位と、機構専門医更新に必要な 8 単位の計 48 単位で更新可能となります。

## 5. 学会専門医の 40 単位

前回更新からの 5 年間で獲得した単位を使用できます(うち 20 単位は日本臨床検査医学会の企画したものへの参加により取得したもの)。今回が初めての更新の方は、検査報告書が 16 編必要で、8 単位となります。詳細は、学会 HP トップページ上段の「認定制度」

(<http://www.jslm.org/recognition/index.html>) ⇨ 「臨床検査専門医」⇨ 「臨床検査専門医制度規定・内規」の「認定更新制度規定」を参照してください。

## 6. 機構専門医の 10 単位

学会 HP トップページ上段にある「認定制度」(上記同)⇨「新臨床検査専門医制度」(<http://www.jslm.org/newsys/index.html>) または トップページ中段の「新臨床検査専門医制度について」⇨「新しい更新について」の「臨床検査専門医更新基準」を参照してください。原則、直近 1 年(2016 年 4 月以降)に獲得した単位を申請することになりますが、臨床検査医学会では 2015 年から更新用講習会を開始した経緯がありますので、学会の企画した講習会については 2015 年度の受講実績を含めることが可能です。専門医共通講習のうち必修講習については直近 1 年ではなく、この 5 年間に受けたもので受講証明があれば使用できます。

単位とは直接関係しませんが、ここ 1 年の活動実態を様式 1-2 で申告してください。現時点ではこの記載の不備だけで失格とすることは想定しておりません。

診療実績は原則 1 単位が必要になります。報告書数にして 5 編です。ご自分の実績・経験が診療実績に相当するか不明の場合は事務局にお尋ねください。なお、過去 3 回の更新者と更新時に 65 歳以上の方は診療実績が免除され、別の種目での代替は不要です。講習など別の種目で診療実績の代替ができることとなります。

講習会受講単位は最大 9 単位必要になります。そのうち必修講習は最低 1 単位必要です。必修講習は直近 5 年以内に受講したもので出席証明があれば認められます。本年度に行われる年次学会や、地方会、関連学会において、いくつか講習会が設定されており、学会 HP で案内されますので、受講を心がけてください。

その他の学術活動で、1-2 単位充足することを検討してください。学術集会参加は 1 日 1 単位、学会発表は示されているような単位設定になっています。ご自分の活動が該当するか不明の場合は事務局にお尋ねください。

参考までに、10 単位の内訳の一例を示します。

項目	下限	上限	例
診療実績	1	2	1 (報告書 5 篇)
講習会受講	1 (必修講)	9	1 (倫理講習受講)、4 (昨年の学術集)

	習)		会での講習受講)、2 (地方会での講習会受講)
その他の活動		2	2 (昨年の学術集会学会出席2日)

#### 7. 更新に係る費用について

~~現制度 (学会専門医) で更新される方はこれまでと同様に学会に1万円を納めてください。機構専門医として更新される方は、審査料として学会に1万円、認定料として機構に1万円の計2万円の負担をお願いします。~~必要となる費用と納入方法はおって周知します。

不明な点は学会事務局までお尋ねください。

(様式1-1)

日本専門医機構認定 臨床検査専門医 資格更新申請書

20 年 月 日

一般社団法人 日本専門医機構 御中

フリガナ

氏 名

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

勤務先名

勤務先住所 〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ TEL: \_\_\_\_\_

自宅住所 〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ TEL: \_\_\_\_\_

学 歴 \_\_\_\_\_ 年 月 \_\_\_\_\_ 大学卒業

医籍登録番号 第 \_\_\_\_\_ 号

医籍登録年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

専門医登録番号 第 \_\_\_\_\_ 号 初回認定日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

現在の認定期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 月 日

学位 (任意) あり なし

メールアドレス (任意) アドレス1

アドレス2

勤務実態の自己申告 (必須)

勤務実態の自己申告

直近1年間の勤務実態について記載してください。はい、いいえの欄は一方に○を付してください。

勤務形態について

- a. 病院で臨床検査部門の常勤医師として勤務している (はい、いいえ)  
勤務施設名 ( ) 診療科・部署の名称 ( )
- b. 診療所で臨床検査部門の常勤医師として勤務している (はい、いいえ)  
勤務施設名 ( )
- c. 病院または診療所で臨床検査部門の非常勤医師として勤務している (はい、いいえ)  
複数ある場合はすべて記載  
( ) 時間/週 勤務施設名 ( )  
( ) 時間/週 勤務施設名 ( )  
( ) 時間/週 勤務施設名 ( )
- d. 検診機関、臨床検査関連企業等で臨床検査に携わる医師として勤務している (はい、  
いいえ)  
( ) 時間/週 勤務先 ( )  
業務内容 ( )  
( ) 時間/週 勤務先 ( )  
業務内容 ( )
- e. その他 : a~dに該当しない場合  
( ) 時間/週 勤務先 ( )  
臨床検査に関連した業務の内容  
( )

専門医としての活動概要

---

平均的な1週間あたりの診療関与時間

- 診療活動・・・小計 ( ) 時間/週
    - ・ コンサルテーション対応 ( ) 時間/週
    - ・ 検査結果コメントの作成 ( ) 時間/週
    - ・ 臨床検査のオーダー、実施 ( ) 時間/週
    - ・ 精度管理業務 ( ) 時間/週
    - ・ 外来・病棟における患者への検査説明等 ( ) 時間/週
    - ・ その他 (内容: ) ( ) 時間/週
  
  - 診療管理と教育活動・・・小計 ( ) 時間/週
    - ・ カンファレンス ( ) 時間/週
    - ・ 診療に関わる委員会活動 ( ) 時間/週  
(臨床検査部運営委員会・精度管理委員会・感染対策委員会・輸血療法委員会等)
    - ・ 学生・研修医・専攻医指導 ( ) 時間/週
    - ・ メディカルスタッフ指導 ( ) 時間/週
    - ・ 患者・家族等に対する教育啓発活動 ( ) 時間/週
  
  - その他の臨床的活動・・・小計 ( ) 時間/週
    - ・ 検診・健康相談対応 ( ) 時間/週
    - ・ 臨床に関わる書類作成 ( ) 時間/週  
(外部精度管理報告書、臨床検査関連会議の議事録、等)
    - ・ 行政機関等の依頼に基づく調査と報告、提出書類の作成 ( ) 時間/週
    - ・ その他 (内容: ) ( ) 時間/週
  
  - 専門医として相応しい病院外での医療活動・・・小計 ( ) 時間/週
    - ・ 外部検査機関での活動 (内容: ) ( ) 時間/週
    - ・ 外部医療機関の指導 (内容: ) ( ) 時間/週
    - ・ その他 (内容: ) ( ) 時間/週  
(内容: ) ( ) 時間/週  
(内容: ) ( ) 時間/週
-

(様式 1 - 3)

## 単位集計表

項目		取得単位 (2016年4月～)	更新申請に 必要な単位 (1年間相当分)
i) 診療実績の証明 (別表 1 と実際の記録を提出)	A 必須報告書数	単位	(1 単位)
	B その他	単位	(0～1 単位)
	A+B	① 単位	1 単位以上必須 最大 2 単位
ii) 専門医共通講習 (受講証明を提出)	a. 必修講習	医療安全： 単位	計 1 単位以上必須
		感染対策： 単位	
		医療倫理： 単位	
	b. その他	単位	
	a+b	② 単位	1 単位以上必須 最大 2 単位
iii) 臨床検査領域講習 (別表 2 と受講証明を提出)	③ 単位	4 単位以上	
iv) 学術業績・診療以外の活動実績 (別表 3 と関連書類を提出)	④ 単位	0～2 単位	
総合計 (①+②*+③+④) *②には必修講習各 1 単位以上が必須です		単位	10 単位

事務局記入欄

日本臨床検査医学会 会員番号

受付年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(別表1)

## 診療実績

項目名 (3種類以上取得)	必須 25 件の件数と 提出書類番号	追加件数と 提出書類番号
①検査報告書		
尿沈渣	記載例 5件 (1-1、1-2などと 記載し、提出書類に同じ番号 をつけてください)	
穿刺液・体腔液の細胞検査		
末梢血液像		
骨髄像		
フローサイトメトリー		
リンパ節スタンプ標本		
蛋白分画		
免疫電気泳動		
免疫固定法		
アイソザイム		
リポ蛋白電気泳動		
脂質分画		
アミノ酸分画		
グラム染色・抗酸菌染色所見		
細菌培養同定		
耐性菌検出報告・指導		
薬剤感受性試験		
抗酸菌検出		
血液型判定(変異型など)		
不規則抗体判定・指導		
病原体核酸検査		
造血器等腫瘍遺伝子検査		
薬物代謝関連遺伝子検査		
超音波検査		
循環器機能検査		
呼吸機能検査		
血管機能検査		
神経筋検査		
その他 (特定してください。領域専門医委員会 で審査します。)		
②臨床検査室管理業務		
内部精度管理		



外部精度管理		
インシデント・アクシデント対応		
臨床検査技師への指導・講義		
その他（特定してください。領域専門医委員会で審査します。）		
③コンサルテーション対応		
検査外来での説明		
施設内・外からのコンサルテーションへの対応		
健診・人間ドックでのコメント、説明		
遺伝子検査に関する患者・家族/主治医への説明		
その他（特定してください。領域専門医委員会で審査します。）		
合計	件、 単位	件数と単位数

注) 関連書類は個人情報に留意してください。①は、診療報告書と同一のもののコピーとしてください。紙媒体報告書の場合は日付、報告者のサイン（または印）のあるものにしてください。デジタル報告書の場合は、画面のハードコピーでもいいですが、日付、報告者名がわかるものとしてください。②、③はその記録の原本が施設に保管されているものとします。

(別表 2)

共通講習受講単位表

講習会主催団体	2015年		2016年		2017年					
	必修	その他	必修	その他						
日本臨床検査医学会										
日本臨床検査専門医会										
所属施設（特定ください）										
他団体（特定ください）										
計										
総計	必修 その他 合計									

年次ごとのそれぞれの単位数の合計を記入ください。受講証明は年次順にまとめて提出してください。

(別表 3)

臨床検査領域講習受講単位表

講習会主催団体	2015年	2016年	2017年		
日本臨床検査医学会					
日本臨床検査専門医会					
関連学会					
e-learning などの受講					
計					
総計					

年次ごとのそれぞれの単位数の合計を記載ください。受講証明は年次順にまとめて提出してください。

